

第18回定時株主総会 質疑応答（要旨）

第18回定時株主総会におきましては、多数の株主様のご来場を頂きまして、誠にありがとうございました。

質疑応答の時間には、株主の皆様から以下のようなご意見・ご質問を頂戴いたしました。

内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、要点について要約しております。

質問者1

Q)

- ・ そごう・西武の株式譲渡の実行を中止するという可能性はあるのでしょうか。

A)

- ・ 2006年よりそごう・西武の再成長に向けいろいろな取組みを行ってきましたが、成果が上がらない状況が続いていました。グループ各社、取締役会も含めて議論を重ね、そごう・西武はセブン&アイ以外のパートナーと新しい取組みをした方が成長できるという結論に至りました。百貨店事業を継続し、そごう・西武のブランドを維持いただき、従業員の雇用を最大限守っていただき、百貨店事業にしっかり再投資でき、地域の再開発に繋がる百貨店の再開発のノウハウを有するところをベストオーナーとして探そうということになり、フォートレス社と株式譲渡契約を締結しました。現在、家主様、自治体の皆様等と合意形成に向けて鋭意努力を続けており、今の段階でプロジェクトを中止するという考えは持っておりません。

質問者2

Q)

- ・ セブン-イレブン・ジャパンとイトーヨーカ堂のシナジー効果について、そのシナジーが消費者に見えるようにするための工夫が必要だと思いますが、その取組みについて教えてください。

A)

- ・ セブン-イレブン・ジャパンの売上5兆円以上の約67%が食であり、そのうち約24%はセブンプレミアムの商品売上です。アイテム数は1330あり、競合他社に比べ多くのアイテム数を提供することができるのは、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、ヨークベニマルなどグループ各社の商品開発担当者のノウハウを結集して開発しているという強みが活かされているためです。その成果としてセブンプレミアムの売上は大幅に増加しており、セブン-イレブン・ジャパンだけではこれだけの成果を出せていなかったと考えています。高齢化の進行や単身世帯の増加といった今後の社会環境の変化を踏まえると、消費者がご自宅の近くのセブン-イレブンで生鮮3品を調達できることは消費生活にとって重要であり、今まで以上にスーパーマーケットとコンビニエンスストアのシナジーは花開くと考えています。

質問者 3

Q)

- ・ 約 40 年間セブン - イレブンの加盟店オーナーをしている間に、お客様・従業員への感謝の気持ちが更に高まりました、長い間ありがとうございました。誠実な企業でありたいとおっしゃっていましたが、これからも日々努力をお願いします。

A)

- ・ 心温まるお言葉ありがとうございます。今年、セブン - イレブン・ジャパンが設立 50 周年を迎えることができたのは、加盟店のオーナー様、お取引先の皆様、お客様、従業員の皆様、その他ステークホルダーの皆様のお力添えのおかげと考えています。次の 50 年も社会課題解決と経済価値の両立に向けて取り組んでまいります。引き続き、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

質問者 4

Q)

- ・ イトーヨーカ堂の惣菜やネットスーパーはもっと改善できるのではないのでしょうか。
- ・ 故伊藤雅俊名誉会長からの教えや、今後どのようにグループ企業を導いていくのか教えてください。

A)

- ・ イトーヨーカ堂ではお客様にご満足いただけるオリジナル商品や付加価値の高い商品を提供するために必要な、セントラルキッチンやプロセスセンター等のインフラがありませんでした。グループ各社の知見・ノウハウを共有しながら、抜本的改革に取り組んでいます。ネットスーパーについては、大型センター化を進め、より多くのネットスーパーをご利用されるお客様のニーズに合った商品・サービスを提供していきたいと考えております。
- ・ 入社以来、生前の名誉会長から薫陶を受け、故名誉会長の「信頼と誠実」は重い言葉と感じております。「お客様は来てくださらないもの、お取引先は売ってくださらないもの、銀行は貸してくださらないもの」だからこそ、信頼・信用される存在にならなければならないということを全役員、全社員が腹に据えて、日々の仕事を進めていくことが何よりも大事と考えております。

質問者 5

Q)

- ・ 近所の当社グループのスーパーに求人紙が張り紙されていて、これが最低時給になっているように思いますが、このことについてどのように考えていますでしょうか。

A)

- ・ お店で働いているパート・アルバイトの方の時給は、近隣の状況や経営状況を鑑み、それぞれのお店で決定しています。人でなければできない仕事に労力を向けていただくために、例えばセルフレジ、スマホレジ、AI 発注などの工夫を進めながら、少ない人数で効率良く仕事ができ、賃金が上がるような仕組みを定着させていきたいと考えております。

質問者 6

Q)

- ・ 加盟店オーナーとして、セブン-イレブン・ジャパンにおける AI 発注の導入は従業員の時間を節約する意味でも大事だと思い前向きに取り組んでいます。その効果を教えてください。
- ・ 今後の DX・IT の方針について教えてください。

A)

- ・ セブン-イレブン・ジャパンの AI 発注においては学習を継続しており、これにより効果が上がってきています。今年 3 月に全国に展開し、学習の期間がまだ短いものの、欠品が少なくなる、売上が上がる、発注時間が削減されるなどの効果が出てきています。デイリー商品の AI 発注については、現在地区を限定して展開しておりますが、今後さらに成果が出れば削減した時間を他の業務に当てられるようになるのではないかと考えております。
- ・ お店・来店されるお客様・7iD 会員などの情報を一元管理し、お店・本部・お取引先と共有し新たなビジネス、作業効率の改善に向け模索しています。また、生成 AI を活用し、本部のデータを使うことで何か生み出せないかという視点でセキュリティ面含め検討しています。

質問者 7

Q)

- ・ セブン-イレブン・ジャパンとして、廃棄ロス・フードロスに対して、どのように取り組んでいくのか教えてください。

A)

- ・ 「てまえどり運動」などは、フランチャイズチェーン協会・各省庁と調整し、業界全体で取り組んでいます。併せて、工場で人の手に触れない生産工程にし、長鮮度化することや冷凍商品の拡大を進めています。また、AI 発注が効果を生むことができれば機会ロス・廃棄ロスを同時に減らせるのではないかと期待しており、食品ロスの問題にも貢献したいと考えております。

質問者 8

Q)

- ・ 本社の通路にサーバーラックのようなものがあつたが、仮にそれがサーバーラックなのであれば情報セキュリティ上のリスクがあります。サーバーの保管場所が地下であることも設置場所上もリスクがあると考えています。情報セキュリティの内部監査が行われているか教えてください。

A)

- ・ サーバーが未施錠であったり、誰でも持ち去ることができる形で置いていることはありません。点検した上でリスクがあれば早急に改善してまいります。セキュリティの管理体制については、当社も事業会社各社も決められた体系・運用を守っているかを、網羅的に毎年確認しています。問題があれば当社のセキュリティ部門とも連携し、改善を図っています。当社グループの体系はグローバルに通用する規程に基づいて行われておりますが、ご指摘のような事象があれば調査し、改善をしてまいります。

質問者 9

Q)

- ・ セブン - イレブン・ジャパンのおにぎりが最近美味しくないと思っています。のりを巻いたおにぎりのアイテム数は競合他社と比較すると少ないように思いますが、この点について教えてください。

A)

- ・ セブン - イレブン・ジャパンでは定期的に当社製品・他社製品を試食し、価格を含めた評価を行っています。人の味覚は様々であり、当社の商品の評価が高い人が多いが、他社の商品が美味しいという人もいます。大多数のお客様がよいと思う商品戦略をとっておりますが、価格と味・量とのバランスを変えた商品を品揃えすることで皆さんにとって良くなるよう日々目指しています。ただ今のご指摘は真摯に受け止め、伸びしろと捉え邁進していきたいと思っております。
- ・ 味の改善は行わなければならないと思っております。今後の改善の為に後ほど詳細を教えてくださいますようお願いいたします。

質問者 10

Q)

- ・ 株主提案である 5 号議案について精読したが、提案株主の言っていることは筋が通っていると感じます。招集通知 49 頁に複数の事実誤認があるとの記載があるが、この「事実誤認」について詳細を説明して下さい。

A)

- ・ 株主提案について、例えば「取締役会が現状維持を求めた」「コングロマリット体制を容認している」といった点に関し事実誤認に基づいていると表現しております。

質問者 11

Q)

- ・ 今日のプレゼンテーションや将来の成長についての指針は満足しました。これからもダイナミックに、「さわやか」という印象を持たれる企業になっていただきたいと思っております。

A)

- ・ セブン - イレブン・ジャパンが今年 50 周年を迎えられたのは皆様のお力添えがあったからこそと思っておりますし、これからの 50 年も引き続き、株主の皆様、加盟店の皆様、お取引先の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

以上